

平成13年11月6日
株式会社トムス・エンタテインメント

セガの新技术CGアニメ制作ソフト「アニマニウム」を導入した
日・韓初の合作TVアニメーション・シリーズ
『パタパタ飛行船の冒険』製作決定 — 全世界配給へ！

株式会社トムス・エンタテインメントではこの度、韓国アニメーション制作会社の最大手・株式会社ココ・エンタープライズ(本社:韓国ソウル市、代表取締役社長 リ・ドンウク)と日本の株式会社WOWOW(本社:東京都港区、代表取締役社長 吉岡義朗)、株式会社セガ(本社:東京都大田区、代表取締役社長 佐藤秀樹)、株式会社ゼット(本社:東京都港区、代表取締役社長 渡部 良)との共同出資により、全世界に発信する名作テレビ・アニメーション・シリーズ『パタパタ飛行船の冒険』(全26話)の製作を決定しました。総製作費5億円は各社が負担し、日本と韓国がアニメーション製作で手を組むのは今回が初の快挙となります。

本作品では株式会社セガが新たに開発したCG(コンピュータ・グラフィック)アニメーション制作ソフトウェア「Animanium(アニマニウム)」を導入し、内容のスケールアップとクオリティの向上を図っていきます。このアニマニウムは、今まで難しいとされていたアニメーション手法と3Dを違和感なく合成する画期的な手法で、モデリング部分とアニメーション作成部分を分け、アニメーター自らが動きをコントロールして製作に専念できる大きな利点を持っています。

さらに、この作品では日本のアニメーションで初めてオリジナルデータからHDTV(デジタル高品質テレビ)に対応する作品に仕上げることも大きな話題の一つになっています。

本作品のアニメーション製作を担当するのは、アメリカのテレビ・アニメーション・シリーズ「スーパーマン」や「バットマン」、そして昨年全米放送されて好評を博した「サイバーシックス」の企画製作などで高い評価を受けている、当社100%出資子会社の株式会社テレコム・アニメーションフィルム(本社:東京・三鷹市、代表取締役社長 竹内孝次)が、韓国アニメーション界をリードする株式会社ココ・エンタープライズと提携し、日・韓のトップ・アニメーターが一堂に会して世界に問う意欲作です。監督にはアメリカのテレビ・アニメーション・シリーズ「アニマニアクス」(‘92)「スーパーマン」(‘98)で権威あるエミー賞を受賞している新進気鋭の矢野雄一郎を起用。

物語は、「海底二万里」や「八十日間世界一周」などで著名な、19世紀を代表する

フランスのSF作家ジュール・ベルヌの『サハラ砂漠の秘密』『悪魔の発明』を原本としてオリジナル化したものです。主人公は15才の少女ジェーン・バクストン。彼女は行方不明となった兄を探し、バクストン家に着せられた汚名をそそぐべく、未知の土地へ旅に出ます。その旅でさまざまな人々、風物、事件に遭遇しながら、明るさと希望を失わず目的に向かって力強く生きる姿を、19世紀を思わせる風物と異様な乗り物が登場する未来風景の中で描く、愛と冒険の名作ファンタジー・アニメーションです。作品に登場する空を飛ぶ「飛行機械」、砂漠に行く「砂船」、荒地を高速で走る「機械ソリ」など奇想天外な乗り物や小道具も大きな見所の一つになっています。

日本での放送はWOWOWが2002年の初頭を飾る作品として1月5日より毎週土曜日 19時30分放映を決定。再放送は毎週日曜日の9時30分に行われます。また、韓国も日本と同時に放送が開始される予定です。さらに全世界には、海外配給を担当する当社海外事業部が現在アメリカ・ロサンゼルスオフィス、フランス・パリオフィスのネットワークをフル稼働してセールス中です。

■ [パタパタ飛行船の冒険 公式サイトへ](#)